

太陽のでがみ

てがみには、住所・氏名・年齢・職業を記入してください。（広報掲載時に氏名は載りません。）なお、ひぼう・中傷や営利を目的とする内容は掲載しません。

ふるさと教育は
愛校心や愛郷心を育む
一端になり得るはず



70代・男性

本町の子どもたちが「ふるさと白糠」について多角的に学び、理解し、そして社会に貢献できる人材になってほしいという願いから「ふるさと教育」が推進されており、昨今一定の成果が見られています。
学校教育では「ふるさと学習」と

して、白糠の産業や歴史、文化などを学び、それらを学習発表会や学校祭、あるいは「明日の青少年を考える集い」などで発表しています。

また、外部講師から専門的なお話を聞いたり、施設等の見学や体験学習も行われているようです。さらに社会教育では「ふるさと未来塾」や「学びの支援ボランティア（ごさんこ）」による出前講座も実施されています。このように「ふるさと教育」が着々と推進されている中で、少々気になることがあります。

それは、校歌や町歌が音楽科の授業でどのように扱われ、また指導されているのか、斉唱する機会がどの程度あるのかということですが、

確かに、コロナ禍において感染予防対策が必至であることは十分に理解しています。しかし、広い体育館内でマスクを着用しながら小声で斉唱することは無理なことなのでしょうか。判断の結果、時期尚早となつた場合であっても録音テープやCDを斉唱の代替えとして流すことさえ難しいことなのでしょうか。

「ふるさと教育」を学んだ学び舎の校歌斉唱は愛校心に、町歌斉唱は愛郷心に結びつかないはずがありません。

「コロナ禍にあっても「ふるさと教育」として大切にしたい校歌の斉唱について、再考していただけないものでしょうか。」

お
答
え
し
ま
す

ふるさと教育について、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症対策のため各種活動を制限しなければならぬ状況が続いています。今回の意見も踏まえまして、今後も町歌や校歌を歌ったり、耳にしたりする機会拡充のための工夫・改善を図っていきます。

〈教育委員会〉

元気!!しらぬか応援券

(第7弾)

使用期限は

2月28日まで

使い忘れが無いように
ご利用ください。

アイヌ文化ユーチューブで情報発信

世界に発信する番組「NHKワールド」で、4月に白糠町を含む北海道5地域のアイヌ文化や祭りが放映される予定です。放映日は決まり次第、広報しらぬかや町ホームページでお知らせします。

現在、下記のとおりユーチューブでアイヌ文化を発信していますので、ぜひ、ご覧ください。

・私たちの祭り探検 アイヌ伝承儀式ししゃも祭
<https://www.youtube.com/watch?v=A0bXC44YizA>



・アイヌ文様刺繍・優秀工芸師「間宮喜代子展」
<https://www.youtube.com/watch?v=IU0qfCput-M>

・釧路なつかし館アイヌ文化展
<https://www.youtube.com/watch?v=hcM5wXC6zN8>

